

セーフコミュニティ国際認証再取得までの歩み

2014年	11月	品川市長がセーフコミュニティの取組を宣言
2015年	5月	郡山市セーフコミュニティ推進協議会の設立 外傷サーベイランス委員会の設置
	7月	6分野の対策委員会を設置（交通安全、こどもの安全、 高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災・環境安全）
2018年	2月	セーフコミュニティ国際認証取得 （県内初・国内15番目・世界で391番目）
2021年	11月	再認証取得に向けた事前指導を実施
2022年	11月	オンラインによる現地審査を実施
2023年	2月	セーフコミュニティ国際認証再取得

プロフィール



ミカエル・グリヴナ氏

2014年からセーフコミュニティ認証審査員として活動しており、審査員に就く前は、中央及び東ヨーロッパで外傷予防(管理)に携わっていた。グリヴナ氏が、1997年にカレル大学(チェコ共和国)に設立した傷害疫学・傷害予防センターの活動は、チェコ政府によって全国子ども傷害予防プログラムとして国レベルの子ども傷害予防プログラムとして導入された。また、ヨーロッパ子ども安全連盟においてリーダー的役割を担っている。郡山市の過去の現地審査も担当。



ジョンイ・ペ氏

2014年からセーフコミュニティ認証審査員として活動しており、日本においても久留米市や松原市、さいたま市の審査を担当している。セーフコミュニティに関する分野において長年の経験を有し、国際セーフコミュニティ研究機構のセンター長として韓国内の多くの自治体の支援を行っている。本拠地である釜山市においては、セーフコミュニティ研究センターのディレクターであり、認証プロジェクトのプログラムリーダーとしてかかわっている。



マイケル・ウィルソン氏

アメリカやスウェーデンの大学で公衆衛生の教育を受けた後、これらの国や南米、アフリカ等において研究者としての実績を重ねる。タンザニアでは、外傷予防及びコミュニティ安全向上センターのディレクター及び共同設立者、タンザニアデジタルライブラリーイニシアチブの設立者及び技術的リーダーとして積極的に地域レベルでの安全向上に取り組んでいる。日本においては、泉大津市や豊島区の審査を担当している。



白石 陽子氏 一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事

立命館大学大学院政策科学研究科博士課程在学中にセーフコミュニティの発祥地であるスウェーデンのカロリンスカ研究所(医科大学)でセーフコミュニティを学ぶ。代表を務める日本セーフコミュニティ推進機構はセーフコミュニティ支援センター、インターナショナルセーフスクールの認証センターとして認定されている。郡山市のセーフコミュニティ活動を取組当初から支援。



この印刷物は、環境にやさしいFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。

郡山市

セーフコミュニティ再認証式



令和5年2月4日(土)
郡山市役所 本庁舎2階 正庁



次第

【第1部】合意書署名式 (午後1時30分から午後2時10分)

- 1 開会
- 2 合意書署名
- 3 認証報告
- 4 認証盾・認証旗授与
- 5 認証審査員メッセージ
- 6 式辞
- 7 感謝状贈呈
- 8 閉会

【第2部】セーフコミュニティ賞表彰式 (午後2時30分から午後3時)

- 1 開会
- 2 式辞
- 3 表彰
- 4 祝辞
- 5 審査員講評
- 6 受賞者代表挨拶
- 7 閉会

審査員メッセージ(要旨)

親愛なる郡山市民の皆様、そして品川市長及び
郡山市セーフコミュニティ推進協議会、分野別対策委員会の皆様

今回、国際セーフコミュニティネットワークの一員として、2回目の認証という郡山市にとって記念すべき重要な日を皆様と共に祝いできることをとても光栄に思っています。

私は、前回(2018年)の貴市の初めての認証においても審査を務めさせていただき、認証式典では皆様とともに認証を喜んだことを今でも覚えています。

今回、2022年11月に、韓国のジョンイ・ペ先生、フィンランドのマイケル・ウィルソン先生と共に、皆様がどのようにセーフコミュニティを盛り上げ、取組を続けてこられたかを書類審査・オンラインでの現地審査を通して確認させていただいた内容は、どれも非常に印象深いものでした。

とりわけ、コロナ禍で様々な困難が続く中、郡山市は様々な課題において、事故や心身のけがを減らすという素晴らしい成果を得られ、より安全なまちへと進化されました。

幅広い安全課題に向けて、皆様は分野・組織を越えて協働で取り組み、市長はじめ行政がオール郡山の取組となるために支援・尽力されてきました。

市や関係機関の様々な分野での努力、そして市民の皆様の積極的な参画によって取組が継続的に実施され、その結果として素晴らしい成果を得ることができたのです。

貴市のこれまでの取組とその成果は、再認証に値するものであり、全7つの指標を十分満たしていると判断し、貴市が引き続き国際セーフコミュニティネットワークの一員としての条件を十分に満たしていることをスウェーデン・ストックホルムにある認証センターにお伝えすることができました。

貴市の素晴らしい成果と進歩を認証センターにお伝えできたことをうれしく思っています。

改めて、この度は再認証おめでとうございます。

セーフコミュニティ認証審査員(正審査員)
Michal Grivna (ミカエル・グリヴナ)



合意書

国際セーフコミュニティ認証センター

及び

郡山市

は

全ての環境・状況の安全を対象に、市全域、全年齢の市民の傷害予防を通じた安全なまちづくりに継続して取り組むことをここに合意します。
また、この取組に関わる者として、安全なまちづくりの取組を記録・評価するとともに、国内外への普及に向けて活発に発信していくことに合意します。

日本国 郡山市
2023年2月4日

品川 万里
郡山市長

ミカエル グリヴナ
セーフコミュニティ認証審査員(正)

塩田 義智
郡山市議会 議長

レザ モハマディ
国際セーフコミュニティ認証センター センター長

鈴木 光二
郡山市自治会連合会 会長

白石 陽子
(一社)日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事